



## I 第35週の発生動向 (2018/8/27~2018/9/2)

1. 手足口病については、むつ保健所管内で**警報**が発令されました。五所川原保健所管内では**警報**が継続しています。上十三保健所管内では定点当たり報告数が4.17となり、警報開始基準値(5)に近づいています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. 突発性発しんについては、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、上十三保健所管内では定点当たり報告数が2.17となり、注意報基準値(3)に近づいています。
5. マイコプラズマ肺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、むつ保健所管内で定点当たり報告数の多い状態が続いています。

## II 第35週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減 数
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ															0
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38	11	1.22	13	1.30	11	2.20	2	0.33	9	2.25	49	1.17	18
	咽頭結膜熱	1	0.13	1	0.11	1	0.10	3	0.60					6	0.14	3
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.38			11	1.10			5	0.83	3	0.75	22	0.52	-9
	感染性胃腸炎	29	3.63	10	1.11	49	4.90	22	4.40	8	1.33	11	2.75	129	3.07	31
	水痘	1	0.13	2	0.22	1	0.10			3	0.50	1	0.25	8	0.19	3
	手足口病	16	2.00	23	2.56	9	0.90	37	7.40	25	4.17	27	6.75	137	3.26	46
	伝染性紅斑							1	0.20					1	0.02	-5
	突発性発しん	5	0.63	5	0.56	13	1.30					3	0.75	26	0.62	10
	ヘルパンギーナ	13	1.63	20	2.22	33	3.30	9	1.80	19	3.17	16	4.00	110	2.62	23
流行性耳下腺炎	1	0.13	1	0.11	13	1.30			13	2.17			28	0.67	13	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	2	1.00			2	1.00							4	0.36	3
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															-1
	マイコプラズマ肺炎										9	9.00		9	1.50	3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

## 感染症の窓

### 警報・注意報

表: 警報・注意報の基準値

水痘の警報及び注意報の基準値が本年第36週から変更になります(表)。

警報は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示し、注意報は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを、また、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを示します。

警報・注意報の発令は、定点把握感染症のうち、流行状況を早期に把握する必要がある疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策を講ずるため、患者報告数が一定のレベルを超えた場合、迅速に医療機関関係者及び県民に対して注意喚起を行うことを目的としています。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘 2018年第36週より変更	7 ⇒ 2	4 ⇒ 1	4 ⇒ 1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たり報告数です。  
注意報の「-」は対象としていないことを示します。

### Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：五所川原 2 人（2018 年計：132 人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：弘前 3 人、上十三 3 人（2018 年計：28 人）
- ・レジオネラ症（四類全数把握対象疾患）：八戸市 1 人（2018 年計：5 人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：弘前 1 人（2018 年計：32 人）

### Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

発熱、左側胸部痛疑い患者（鼻汁、7/24）・・・ヒトライノウイルス A：むつ 1 人  
 無菌性髄膜炎疑い患者（咽頭ぬぐい液、7/25、ふん便及び髄液、7/31）  
 ・・・・HHV6B、HHV7：青森市 1 人、コクサッキーウイルス B3 型：八戸市 1 人  
 感染性胃腸炎、喘息重積発作疑い患者（咽頭ぬぐい液（鼻汁）、7/26）・・・ヒトライノウイルス A：青森市 1 人

### Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018 年第 32 週～2018 年第 35 週）

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32	H30.8.6 ~ H30.8.12	水痘(入院例)1人 百日咳1人	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 後天性免疫不全症 候群1人 百日咳1人				
33	H30.8.13 ~ H30.8.19	梅毒1人 播種性クリプトコク ス症1人	侵襲性肺炎球菌感 染症1人 百日咳1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	レジオネラ症1人 梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症2人 梅毒1人 百日咳1人
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	梅毒1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人 カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 百日咳3人	腸管出血性大腸菌 感染症1人		腸管出血性大腸菌 感染症1人	腸管出血性大腸菌 感染症1人
35	H30.8.27 ~ H30.9.2		腸管出血性大腸菌 感染症3人 百日咳1人	レジオネラ症1人		腸管出血性大腸菌 感染症3人	

・第 32 週に弘前保健所管内で百日咳 1 例、第 34 週に青森市保健所管内で梅毒 1 例、弘前保健所管内でカルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 例の届け出がありましたので追加しました。

### Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018 年第 32 週～2018 年第 35 週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
32	H30.8.6 ~ H30.8.12	2	1			1	
33	H30.8.13 ~ H30.8.19		1	2	1		
34	H30.8.20 ~ H30.8.26	2					
35	H30.8.27 ~ H30.9.2				2		

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第34週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	13921	3	107	2371	22	13	285	692	7	5

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	56	1	1	97	100	153	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	32	6	2	1225	4	539	146	1238	26

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	477	11	138	478	848	49	321	25	2289	285

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4376	125	74	48	5139	273	202	13

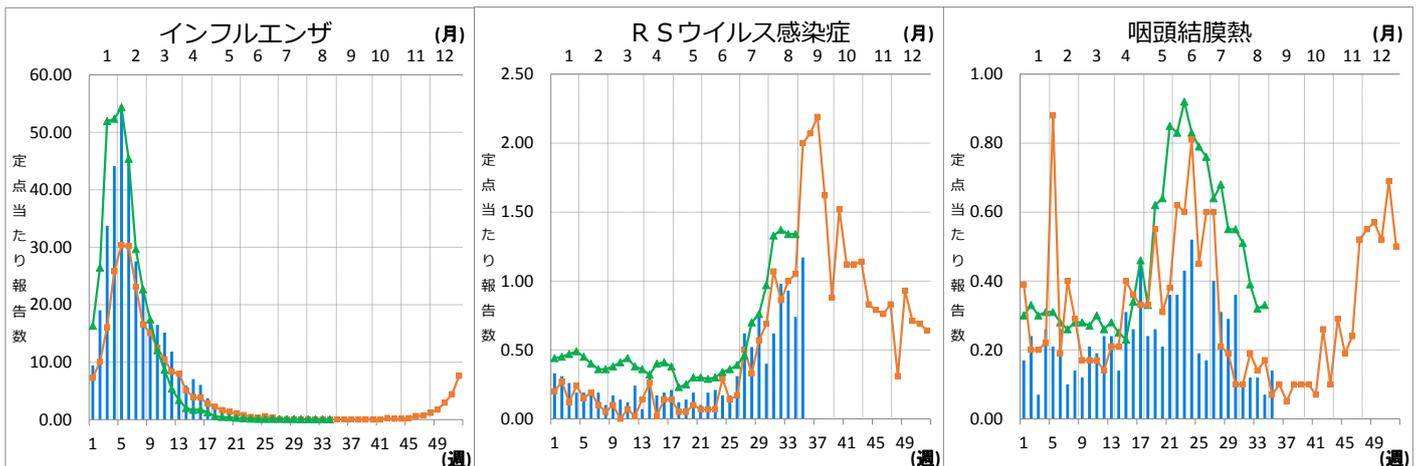
青森県（2018年第1週～2018年第35週までの累計）

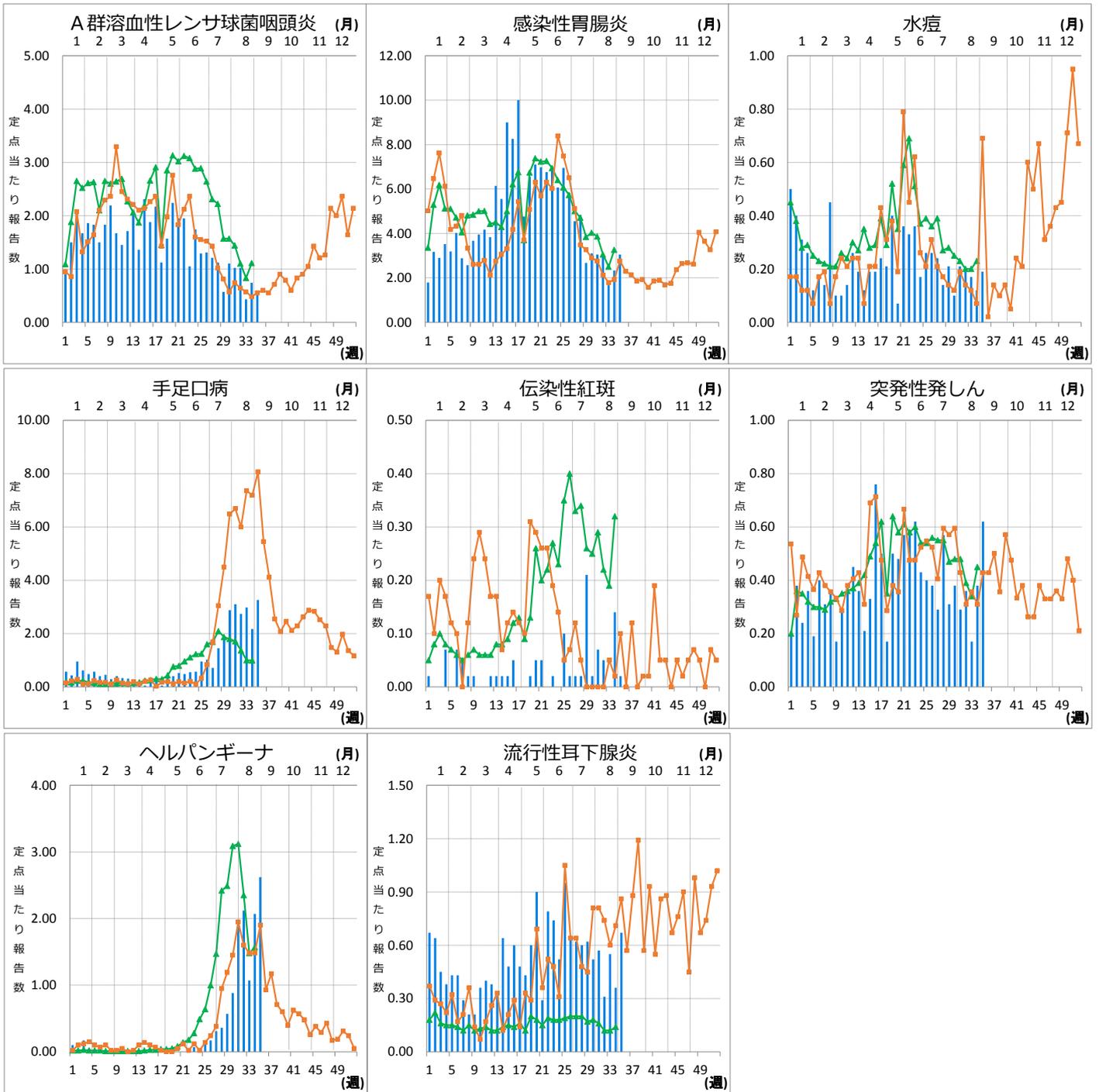
分類	二類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎
累積報告数	132	3	28	1	1	4	5	2	18	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	3	4	4	1	10	4	25	1	4	32

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第35週、ただし全国は前週）

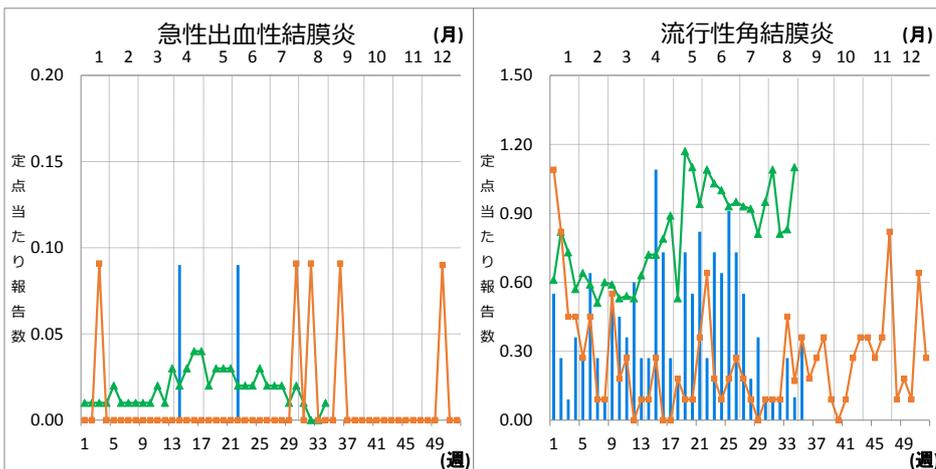
グラフの説明 ← は2018年青森県、■は2017年青森県、▲は2018年全国





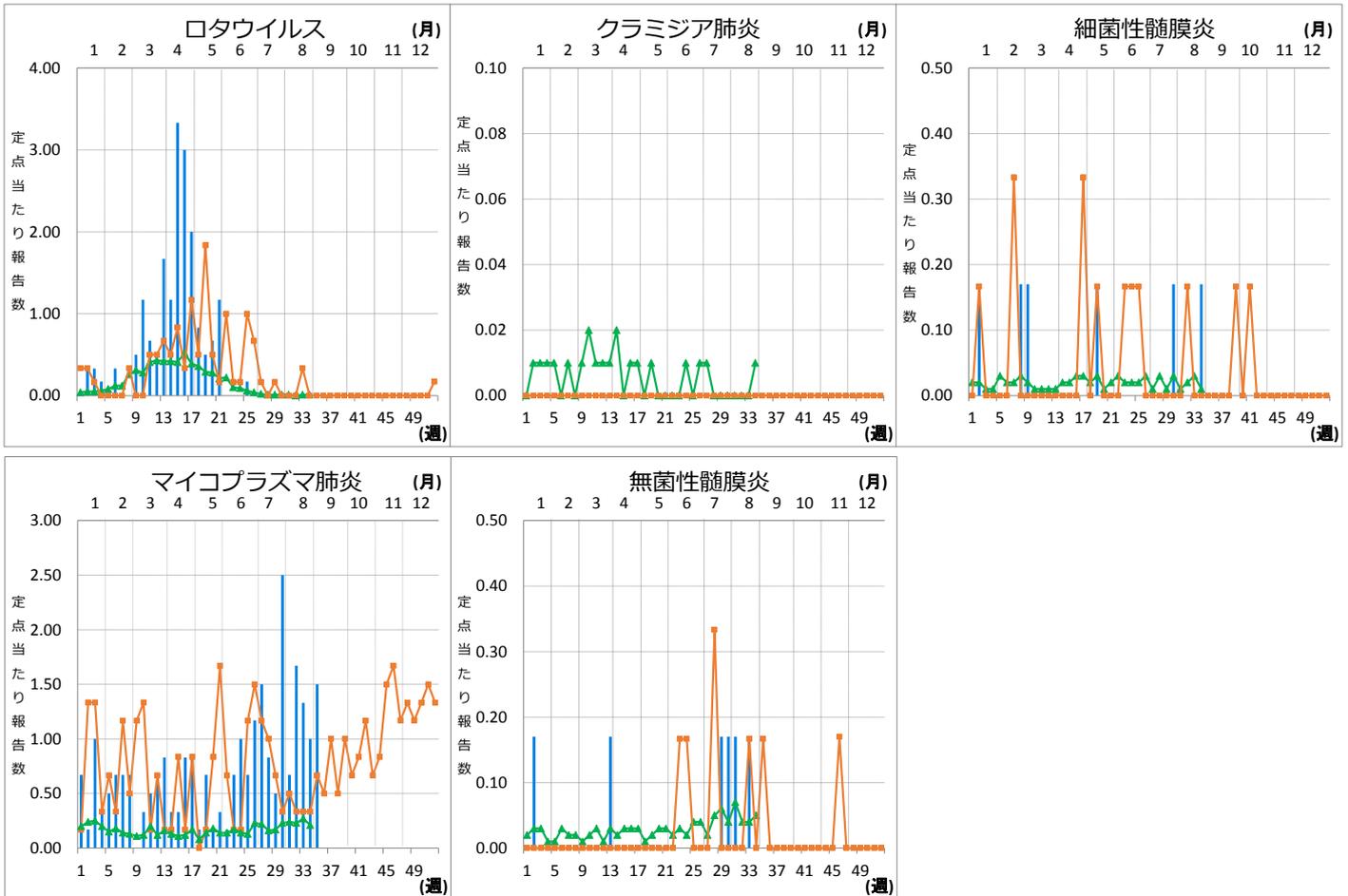
**Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第35週、ただし全国は前週)**

**グラフの説明** —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



**X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第35週、ただし全国は前週）**

**グラフの説明** —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



**XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況**

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第35週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	8
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	105
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	14
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	212